コラボフロー

ColdFusion 2023 バージョンアップガイド

対象バージョン：ColdFusion 2021、2023
およびコラボフロー 2.21.0 以降

株式会社コラボスタイル

商標について

記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。また、当社製品には他社の著作物がふくまれている場合があり、この仕様については予告なく変更される場合がございます。
詳細については、弊社の Web サイトを参照してください。
https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/205716729

著作について

本書のいかなる部分も、明示的な事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写、記録それ以外を含むいかなる手段においても、購入者の個人目的以外に複製、転写、転用する事はできません。

目次

1. 本書の目的 6
2. はじめに 6
2.1. 対象サーバー 6
2.2. バージョンアップ作業を行う際のユーザー アカウント 6
2.3. バージョンアップに必要な情報 6
2.4. ColdFusion 2023 のライセンス取得について 7
2.5. ColdFusion の設定資料を用意する 7
資料1：設定要約の PDF ファイル 7
資料2：JVM パラメーター 7
2.6. 作業時間の目安 8
2.7. 注意事項 8
3. バージョンアップ前作業 9
3.1. 作業を行うブラウザー 9
3.2. ColdFusion 2021 のサービスを停止 10
3.3. ColdFusion 設定ファイルのバックアップ 11
3.4. Web サーバーコネクタの削除 12
4. ColdFusion 2023 のインストール 14
4.1. インストーラの起動 14
4.2. インストール前のチェック 15
4.3. はじめに 15
4.4. エンドユーザー使用許諾契約 16
4.5. インストールタイプ 16
4.6. インストーラ設定 17
4.7. ユーザー入力を取得 17
4.8. ColdFusion サーバープロファイルを選択 18
4.9. サブコンポーネントのインストール 18
4.10. サーブレットの有効化または無効化 19
4.11. インストールディレクトリの選択 19
4.12. 内蔵 Web サーバーポート番号 20
4.13. Performance Monitoring Toolset 20
4.14. 管理者の資格情報 21
4.15. サーバーアップデート 22
4.16. プリインストールの要約 22
4.17. インストール進行 23
4.18. インストール完了 23
5. 設定の移行 24

5.1. ログイン 24
5.2. サーバーの設定 25
5.3. 移行ウィザード開始の確認 25
5.4. エクスポート設定 26
5.5. インポート設定 26
5.6. 移行ウィザード完了 27
5.7. 追加の手動設定 28
5.8. カスタムタグの移行確認 33
6. ColdFusion 脆弱性対策の確認 34
7. ColdFusion 2023 のアップデート 35
7.1. パッケージマネージャー画面の表示 35
7.2. ColdFusion のアップデート 36
7.3. ColdFusion のアップデートの完了確認 39
8. ColdFusion 2023 のアップデート（オフライン） 40
9. ColdFusion 2023 の追加設定 41
10. ColdFusion と Web サーバーの接続設定 42
10.1. Web サーバー設定ツールの起動 42
10.2. Web サーバー設定の追加 43
10.3. Web サーバー設定の終了 44
10.4. コラボフローへのアクセス確認 44
11. ライセンスのアクティベーション 45
11.1. シリアル番号入力 45
11.2. アクティベーション内容の確認 45
12. ライセンスのアクティベーション（オフライン） 46
12.1. シリアル番号入力 46
12.2. アクティベーションリクエスト作成 46
12.3. オフラインアクティベーション実行 47
12.4. ColdFusion 再起動 47
12.5. アクティベーション内容の確認 48
13. ColdFusion 2021 の削除 49
13.1. ColdFusion 2023 サービスの停止 49
13.2. ColdFusion 2021 一時フォルダの削除 51
13.3. プログラムのアンインストール 51
13.4. ColdFusion 2021 のアンインストール 51
13.5. アンインストール完了の確認 54
13.6. ColdFusion 20121 フォルダの削除 55
13.7. ColdFusion 2023 サービスの起動 55

13.8. コラボフローへのアクセス確認 56
14. トラブルシューティング 57
14.1. プロキシサーバーを経由する必要がある場合 57
14.2. ColdFusion 2023 インストール後からコラボフローが表示されない 57

1. 本書の目的

本書はコラボフローが稼働している環境で「ColdFusion 2021」から「ColdFusion 2023」にバージョンアップを行う手順について説明します。

2. はじめに

本書に記載されている環境は以下の通りです。

- OS： Windows Server 2019 日本語版
- Web サーバー： IIS 10
- ColdFusion： ColdFusion 2023 日本語版
  インストール先は「C:¥ColdFusion2023」を前提として説明します。変更されている場合は読み替えてください。

2.1. 対象サーバー

対象サーバーは、コラボフロー 2.21.0 以降がインストールされている Web サーバーです。

2.2. バージョンアップ作業を行う際のユーザー アカウント

対象サーバーの管理者権限を有するユーザーアカウント（Administrator ユーザーなど）が必要です。

2.3. バージョンアップに必要な情報

ColdFusion のバージョンアップには以下のファイルと情報が必要です。

項目	説明
ColdFusion バージョンアップガイド	本書です。
ColdFusion_2023_GUI_WWEJ_win64.exe	ColdFusion 2023 のインストールファイルです。
ColdFusion 2023 ライセンス情報	ColdFusion 2023 のシリアル番号が必要です。 詳細は「ColdFusion 2023 ライセンス取得について」を参照ください。
現行の設定資料	ColdFusion 2021 の設定要約と JVM パラメーター 詳細は「設定資料を用意」を参照ください。
インターネット接続環境	ColdFusion のセキュリティ更新時に必要です。

2.4. ColdFusion 2023 のライセンス取得について

ColdFusion 2021 を購入されている場合は、ColdFusion 2023 ライセンスの取得権を有している場合があります。
Adobe 社が提供している以下のサイトにログインしてご確認ください。

https://licensing.adobe.com/

ログイン ID はコラボフローご購入時に提出いただいた「コラボフローお客様情報登録シート」に記載された担当者のメールアドレスとなります。
一度もログインした事が無い場合はログイン画面右下の「パスワードを忘れた場合」リンクからパスワードを設定ください。

ライセンスが取得できない・担当が変わったなどライセンス状況が、ご不明な場合は購入先までお問合せください。

2.5. ColdFusion の設定資料を用意する

ColdFusion 2021 をセットアップした時の設定シートやパラメーター表等の資料があればご準備ください。
これらの資料は手動で再設定する項目やトラブル時に参照します。

設定資料は、以下の手順で取得可能です。

資料1：設定要約の PDF ファイル

① 以下のアドレスを開いて、ColdFusion の管理画面にログインします。
http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/
② サーバーの設定＞設定要約を表示します。
③ 「PDF として保存」ボタンをクリックして、ダウンロードされたファイルを保存します。

資料2：JVM パラメーター

① サーバーの設定＞Java と JVM を表示します。
② 以下の 3 項目についてメモ帳などにコピーし、保存します。
- 最小 JVM ヒープサイズ
- 最大 JVM ヒープサイズ
- JVM 引数 （とても長いので注意）

2.6. 作業時間の目安

各作業の大まかな所要時間を掲載します。
ご利用状況や環境により前後しますので目安として参照ください。

作業	所要時間
バージョンアップ前作業	20 分
ColdFusion 2023 のインストール	15 分
ColdFusion の設定移行	20 分
ColdFusion 2023 アップデート	10 分
ColdFusion と Web サーバーの接続設定	10 分
ColdFusion 2021 の削除	15 分
合計	90 分

2.7. 注意事項

コラボフロー 2.21.0 かそれ以降のバージョンが必要です。
コラボフロー 2.21.0 以前では ColdFusion 2023 に対応していませんので、先にコラボフローのバージョンアップを実施ください。手順については「コラボフロー アップデートガイド」を参照ください。

バージョンアップ作業中はコラボフローを長時間利用できない状態となります。
必要に応じて社内告知を検討ください。

3. バージョンアップ前作業

信頼済みサイトの追加作業、ColdFusion のバージョンアップで競合が起きないようにサービスを変更します。
また、ColdFusion の設定ファイルをバックアップします。

3.1. 作業を行うブラウザー

以下のサポートサイト記事を参照して、動作環境にあるブラウザーを利用します。

バージョン別動作環境
https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/sections/360000277496

3.2. ColdFusion 2021 のサービスを停止

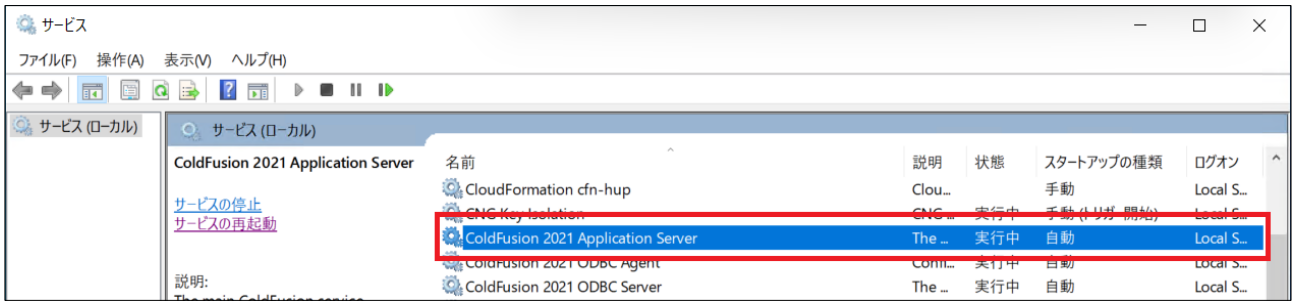
サービスを開く

以下のいずれかの方法でサービスの一覧を開きます。

・サーバーマネージャーを起動し、ツール＞サービスを選択します。

または

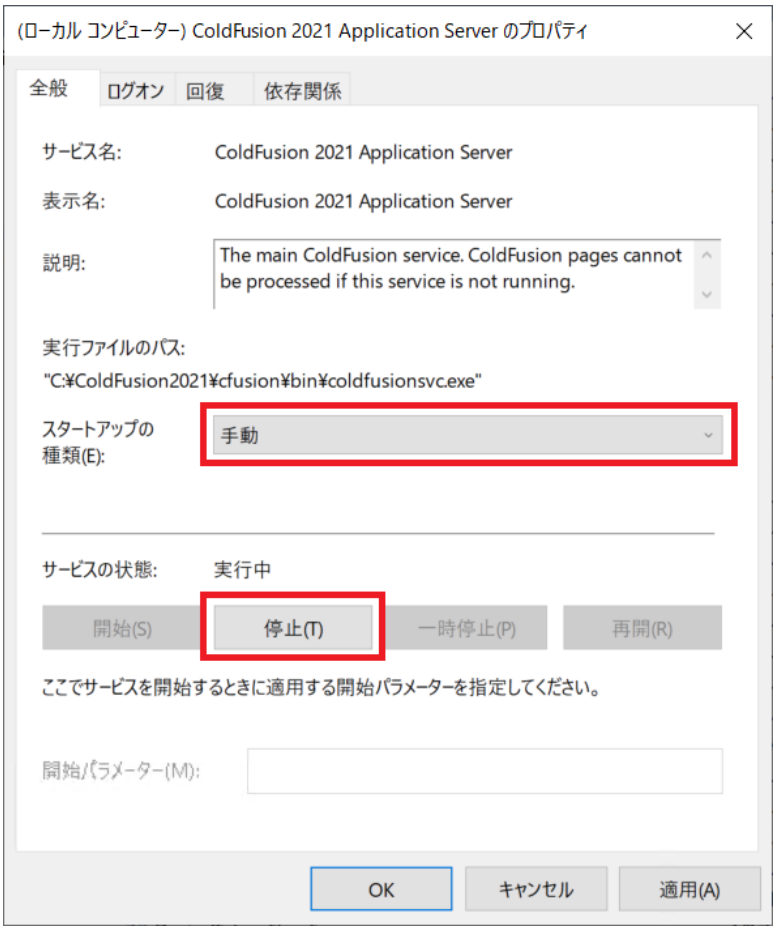
・コントロールパネルを開き、システムとセキュリティ＞管理ツール＞サービスをクリックします。



赤枠で囲った「ColdFusion 2021」から始まる各サービスが変更対象です。

サービスのプロパティを変更する

「ColdFusion 2021 Application Server」を右クリック＞プロパティを選択します。



① 「停止」ボタンをクリックし、サービス状態が停止になるまで待ちます。
② スタートアップの種類を「手動」に変更します。
③ 「OK」ボタンをクリックします。

3.3. ColdFusion 設定ファイルのバックアップ

ColdFusion の設定ファイルをバックアップします。

① 任意にバックアップ取得用フォルダを作成します。
作成例：【 D:¥Backup¥ColdFusion2021¥20250121 】

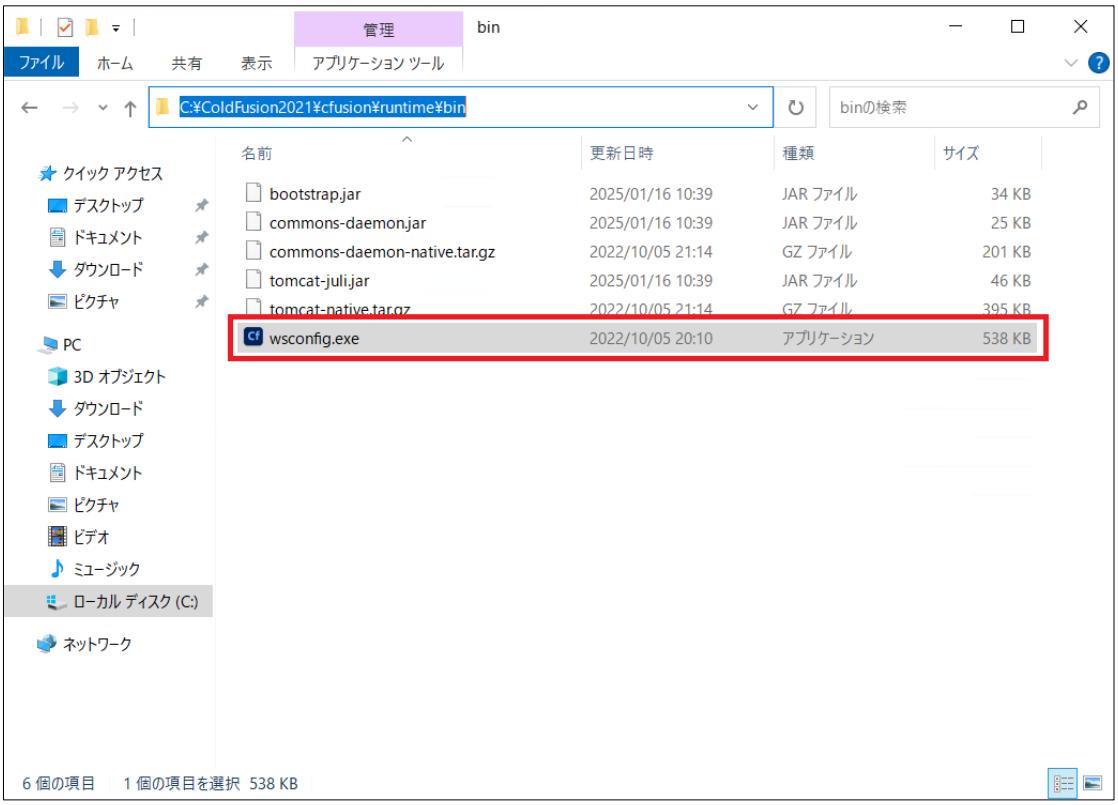
※「20250121」には、作業日を指定し、いつバックアップを行ったかをわかるようにします。
2025 年 1 月 21 日に実施した場合 ⇒ 20250121

② 以下のフォルダとファイルを作成したフォルダにコピーします。
C:¥ColdFusion2021¥cfusion¥lib フォルダ
C:¥ColdFusion2021¥cfusion¥bin¥jvm.config ファイル

3.4. Web サーバーコネクタの削除

Web サーバー設定の起動

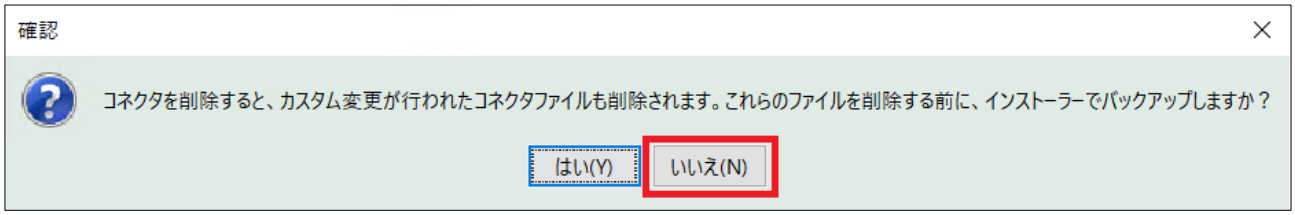
C:¥ColdFusion2021¥cfusion¥runtime¥bin フォルダを開き「wsconfig.exe」をダブルクリックします。



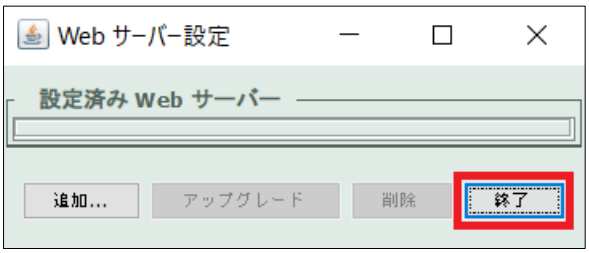
コネクタの削除

「Internet Information Server (IIS): All」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

「いいえ」ボタンをクリックします。（バックアップ不要です）



他に設定がある場合は同様に削除します。
以下のように全ての設定が空になれば、「終了」ボタンをクリックして閉じます。

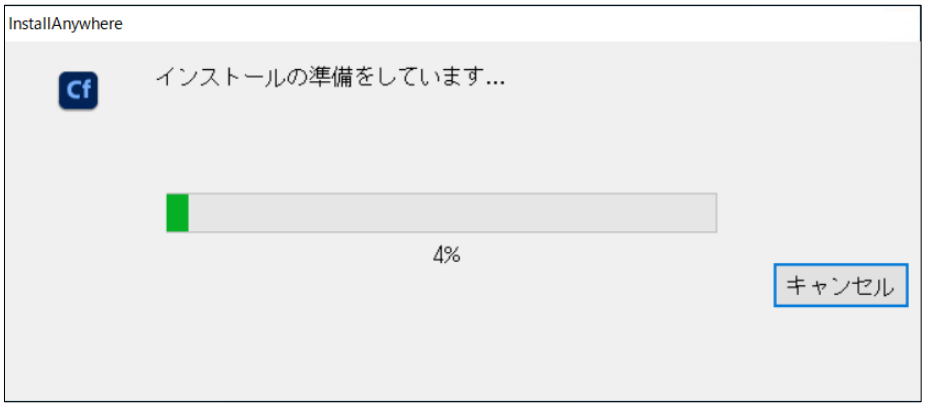


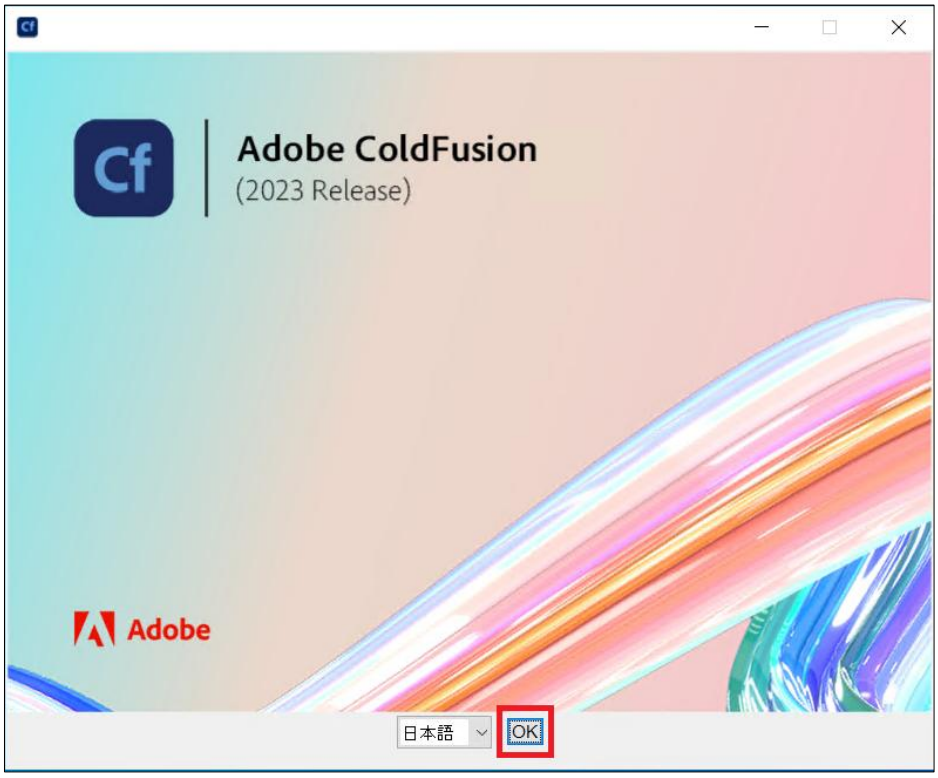
4. ColdFusion 2023 のインストール

ColdFusion のバージョンアップ手順をご説明します。

4.1. インストーラの起動

ColdFusion 2023 のインストーラ、「ColdFusion_2023_GUI_WWEJ_win64.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動します。
インストールの準備画面表示後、言語選択の画面が表示されますので「日本語」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



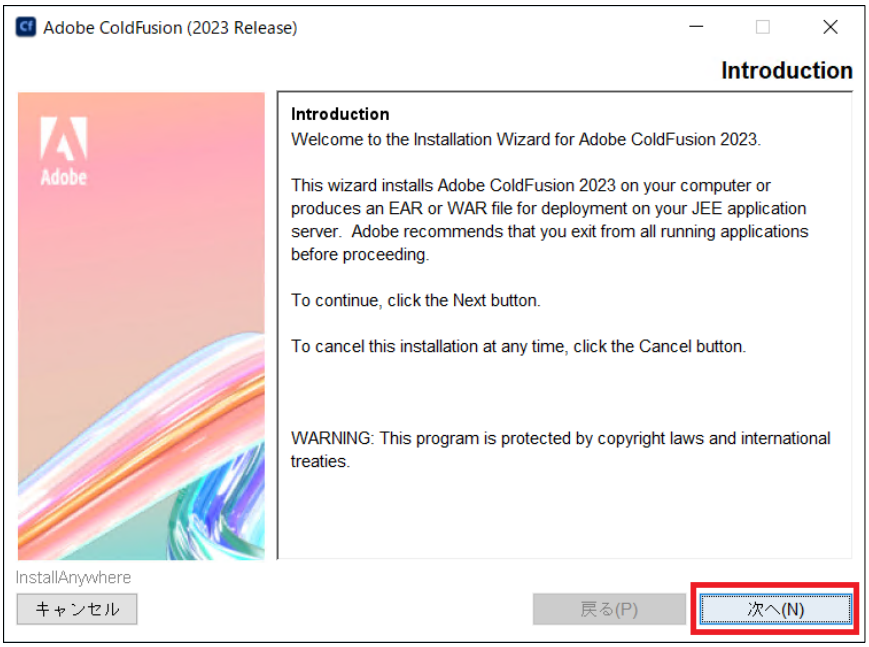


4.2. インストール前のチェック

インストール前のチェックが実行されます。

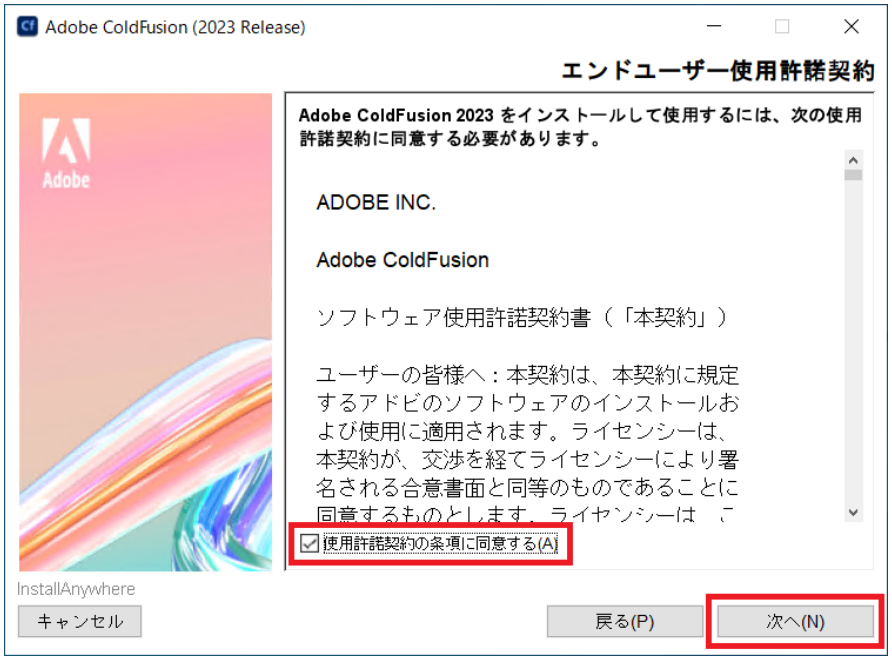
4.3. はじめに

インストールの確認画面が表示されるので、内容を確認して「次へ」ボタンをクリックします。



4.4. エンドユーザー使用許諾契約

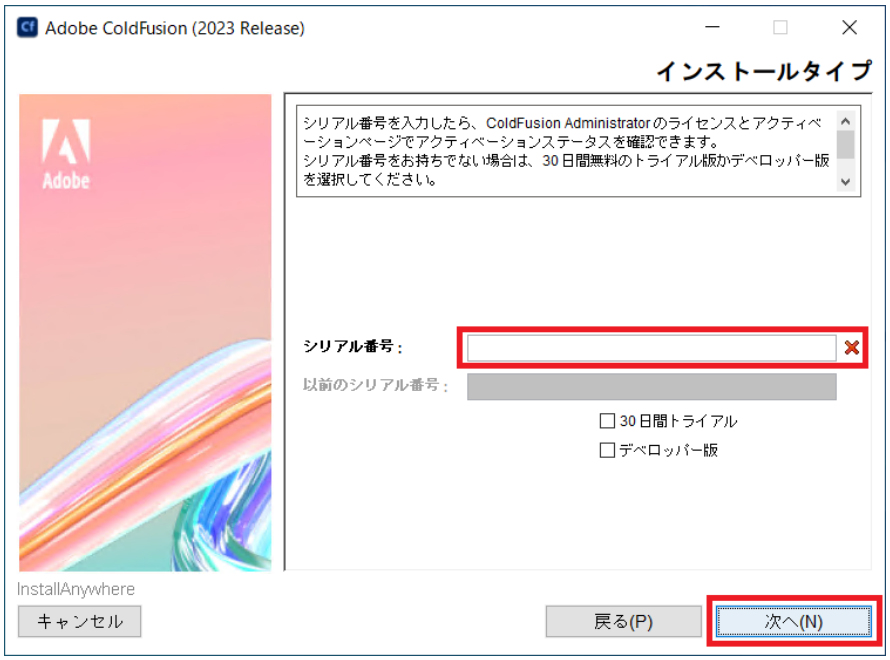
ライセンス契約の同意画面が表示されたら内容を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意する」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



4.5. インストールタイプ

※プロキシ環境、または、オフライン環境である場合は、この手順をスキップしてください。

ColdFusion 2023 のシリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



4.6. インストーラ設定

「サーバーの設定」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

4.7. ユーザー入力を取得

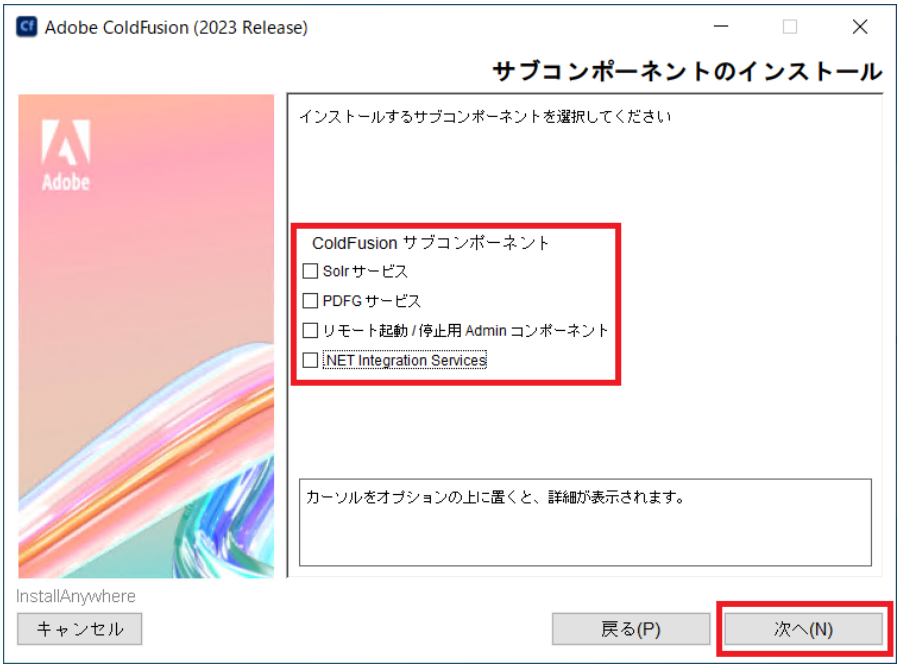
「Production」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

4.8. ColdFusion サーバープロファイルを選択

「本番プロファイル」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

4.9. サブコンポーネントのインストール

すべてチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。

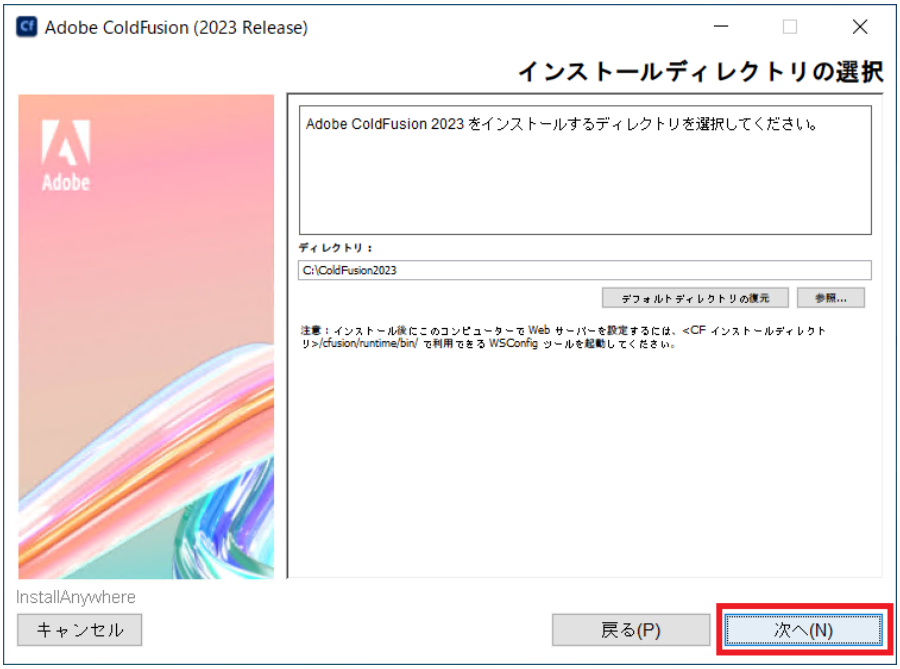


4.10. サーブレットの有効化または無効化

すべてチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。

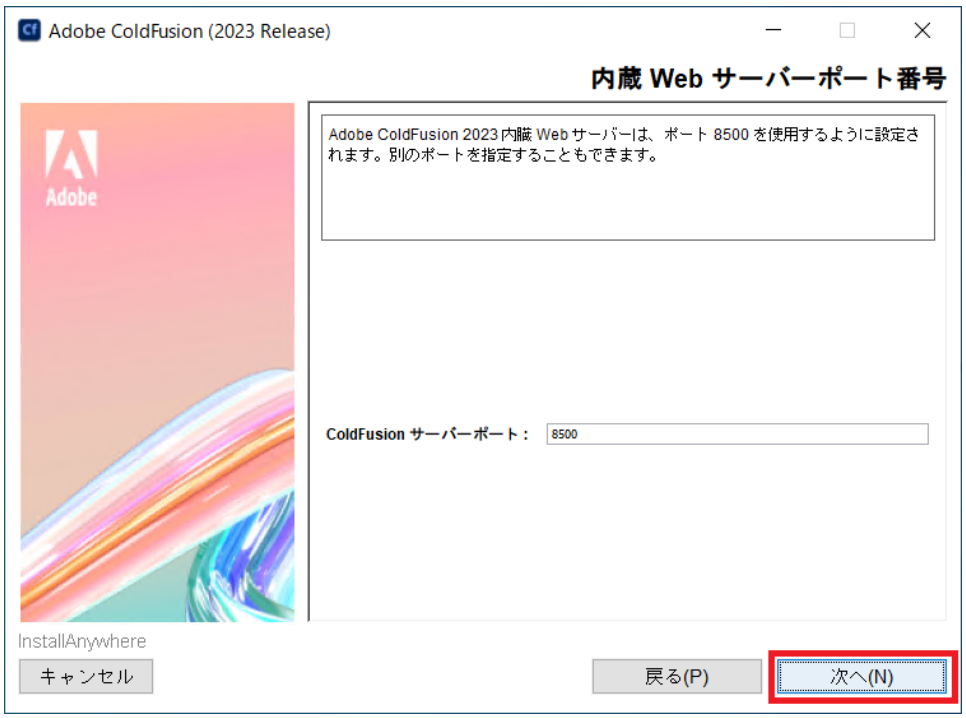
4.11. インストールディレクトリの選択

「次へ」ボタンをクリックします。特別な事情でデフォルトのディレクトリ以外の場所にインストールしないといけない場合を除き、デフォルトのディレクトリにインストールされることを推奨します。



4.12. 内蔵 Web サーバーポート番号

「次へ」ボタンをクリックします。※監視システム等で既に 8500 番ポートが占有されている場合は別の番号に変更ください。



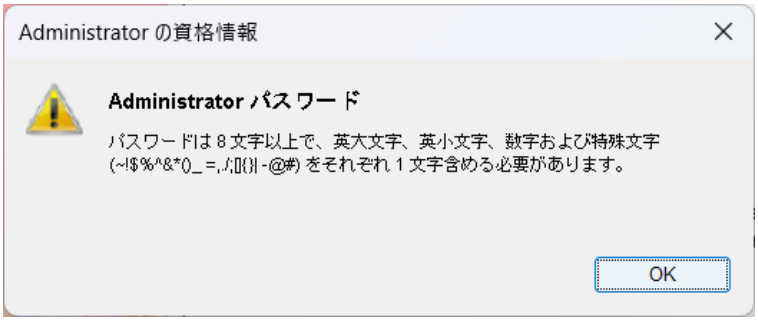
4.13. Performance Monitoring Toolset

「次へ」ボタンをクリックします。

4.14. 管理者の資格情報

ColdFusion 管理画面にログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。
パスワード(確認用含む)を入力後、「次へ」ボタンをクリックします。

【補足】
入力したパスワードの強さが足りない場合、以下のメッセージが表示されます。



パスワードは以下の条件を全て満たす文字列を指定する必要があります。

・パスワードは 8 文字以上
・アルファベット大文字(A～Z)を1つ以上含む
・アルファベット小文字(a～z)を1つ以上含む
・数字(0～9)を1つ以上含む
・特殊文字(~ ! $ % ^ & ( ) _ = , . / ; [ ] { } | - @ #)を1つ以上含む

4.15. サーバーアップデート

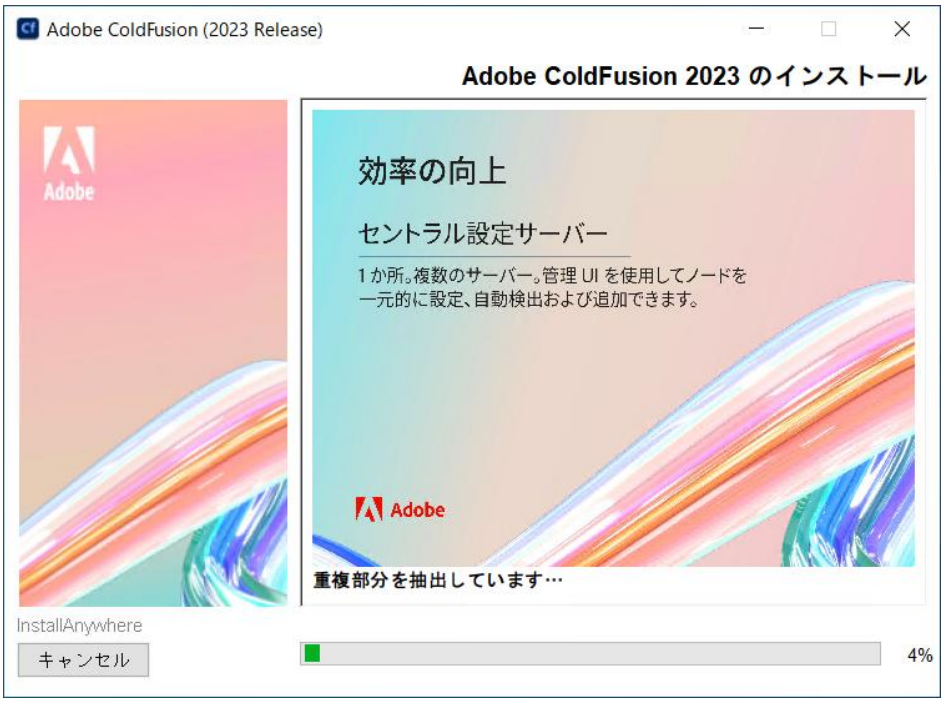
「サーバーアップデートを自動的に確認」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。

4.16. プリインストールの要約

内容を確認の上、「インストール」ボタンをクリックします。
設定内容に誤りがある場合、「戻る」または「キャンセル」ボタンをクリックし、インストールを再試行してください。

4.17. インストール進行

インストール進行画面が表示されます。



4.18. インストール完了

「デフォルトブラウザーで設定ウィザードを起動」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックします。

5. 設定の移行

ColdFusion のインストール完了後、「完了」ボタンをクリックすると、ColdFusion の基本的な設定を行う移行ウィザードが表示されます。

移行ウィザードは、インストール完了画面内の「デフォルトブラウザーで設定ウィザードを起動」にチェックが入っている場合のみ表示されます。
チェックを入れなかった場合は、手動でブラウザーを起動し、以下のアドレスにアクセスします。

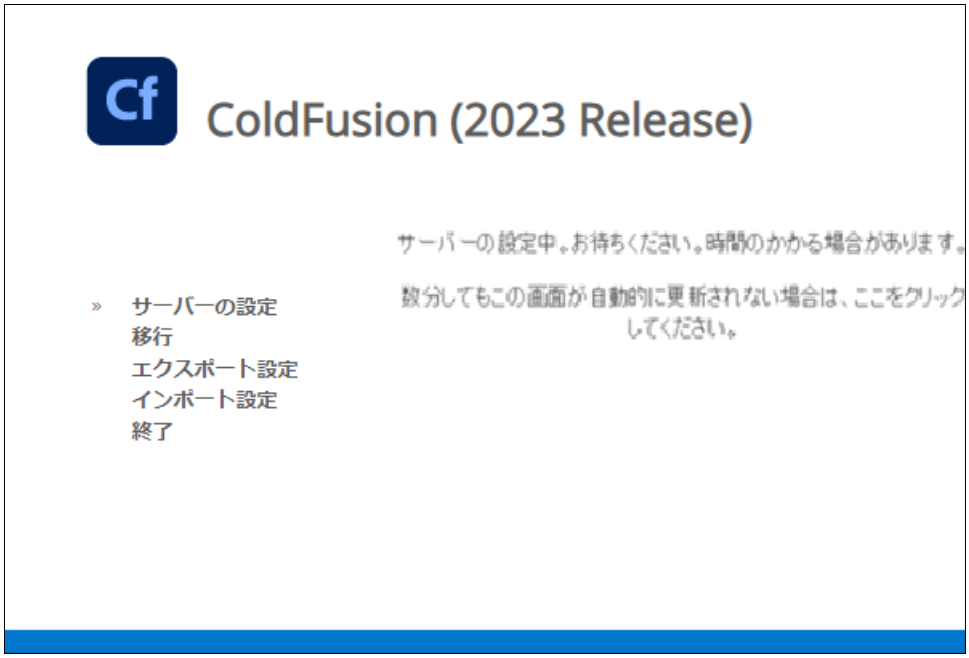
http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/

5.1. ログイン

ColdFusion のインストール時に指定した「admin」ユーザーのパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

5.2. サーバーの設定

移行ウィザードにログインすると、サーバーの設定が自動で行われます。



※ページが更新されない場合は、メッセージ内の「ここをクリック」をクリックしてください。

5.3. 移行ウィザード開始の確認

「次へ」ボタンをクリックします。

5.4. エクスポート設定

「次へ」ボタンをクリックします。

5.5. インポート設定

「次へ」ボタンをクリックします。

5.6. 移行ウィザード完了

設定の移行が完了しました。「OK」ボタンをクリックします。

ColdFusion 管理画面が表示されます。

5.7. 追加の手動設定

以下の項目について設定を行います。

サーバーの設定＞設定

「サーバーの設定」画面を表示し、「設定」をクリックします。

「リクエストタイムアウト」にチェックを入れ、「60」を入力します。
※コラボフローの設定値は 60 秒ですが、必要に応じて変更できます。

アプリケーションごとの設定の有効化にチェックを入れます。

画面を下にスクロールし、「送信データの最大サイズ」に「20」を入力します。
※ファイルのアップロードに関係します。詳細は下記コラボフローサポートサイトの記事を参照ください。

https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/204727075

「変更の送信」をクリックします。

サーバーの設定＞Java と JVM

本書「はじめに」で用意した「JVM パラメーター」の値を再設定します。

① 「サーバーの設定」画面を表示し、「Java と JVM」をクリックします。
② 「最小 JVM ヒープサイズ」に最小 JVM ヒープサイズ値を入力します。
③ 「最大 JVM ヒープサイズ」に最大 JVM ヒープサイズ値を入力します。
④ 「JVM 引数」の MaxMetaspaceSize に、値を設定します。

-XX:MaxMetaspaceSize=256m

※MaxMetaspaceSize の詳細は、下記コラボフローサポートサイトの記事を参照ください。

https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/360000697755

⑤ 「JVM 引数」にロケールパラメーターが含まれていない場合は、以下の指定を追加します。

-Duser.language=ja

⑥ 「変更の送信」をクリックします。

セキュリティ＞セキュアプロファイル

「セキュリティ」画面を表示し、「セキュアプロファイル」をクリックします。
「セキュアプロファイルを有効にする」のチェックを外し、「変更の送信」をクリックします。

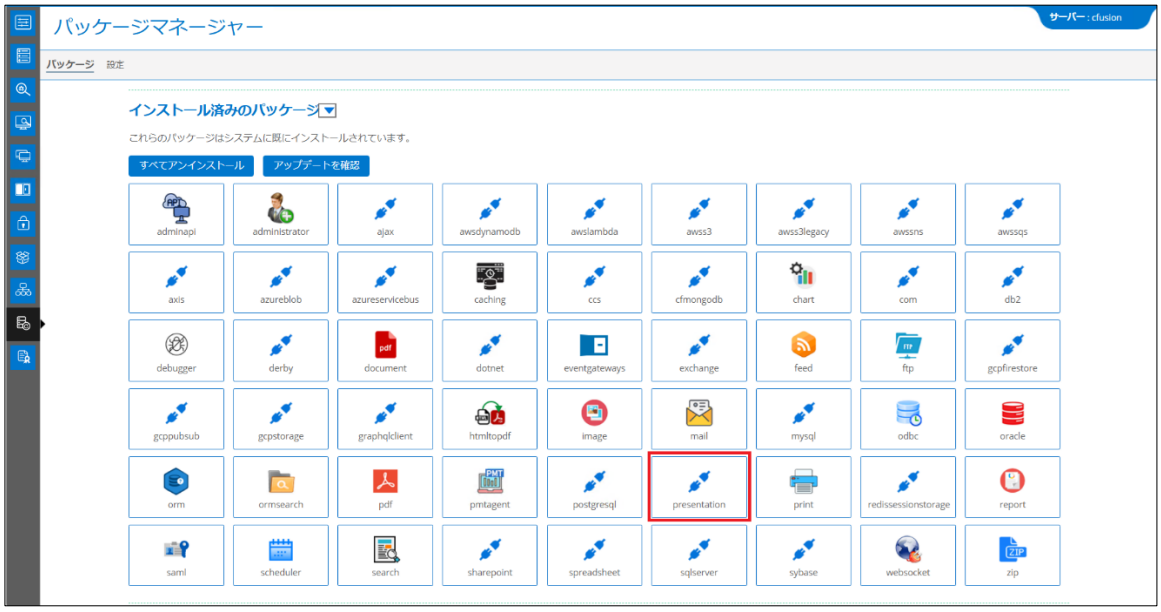
パッケージマネージャー＞設定

Web プロキシサーバーがある環境下でサーバーを運用している場合は
「パッケージマネージャー」画面を表示し、「設定」をクリックします。

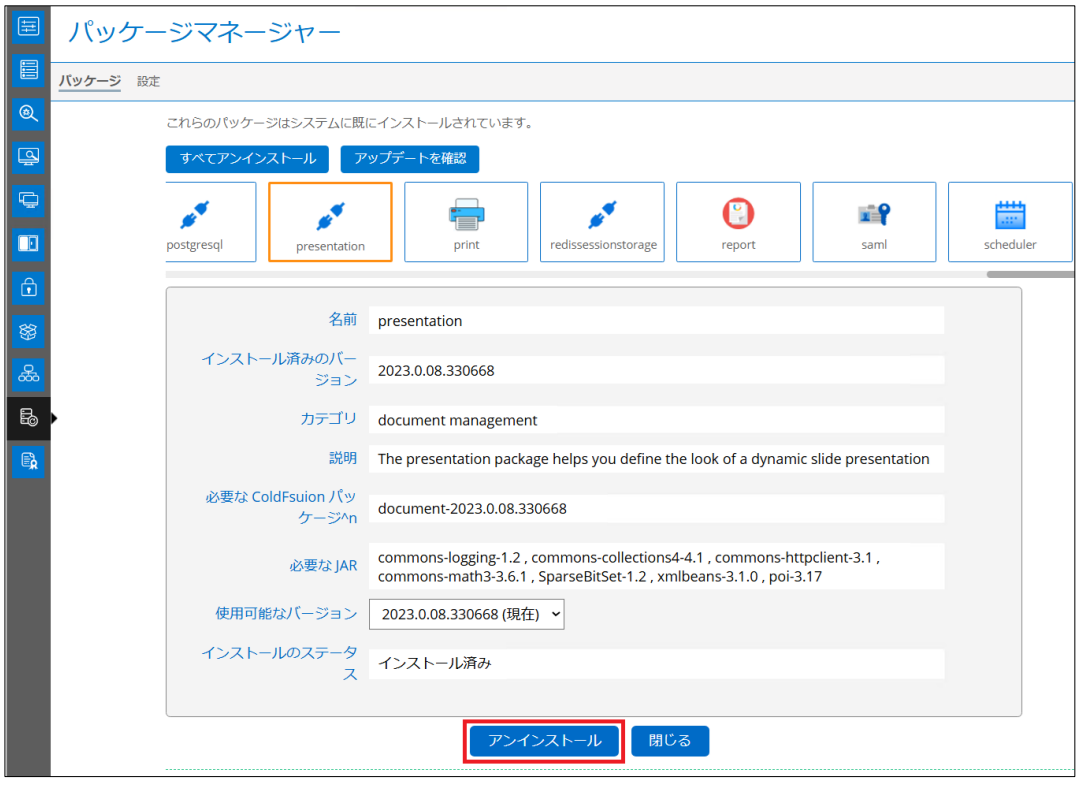
「プロキシ設定」にプロキシ情報を入力し、「変更を送信」ボタンをクリックします。

パッケージマネージャー＞パッケージ

「パッケージマネージャー」画面を表示し、「パッケージ」から「インストール済みのパッケージを開きます。
「presentation」パッケージがインストールされている場合、クリックします。



「アンインストール」ボタンをクリックします。

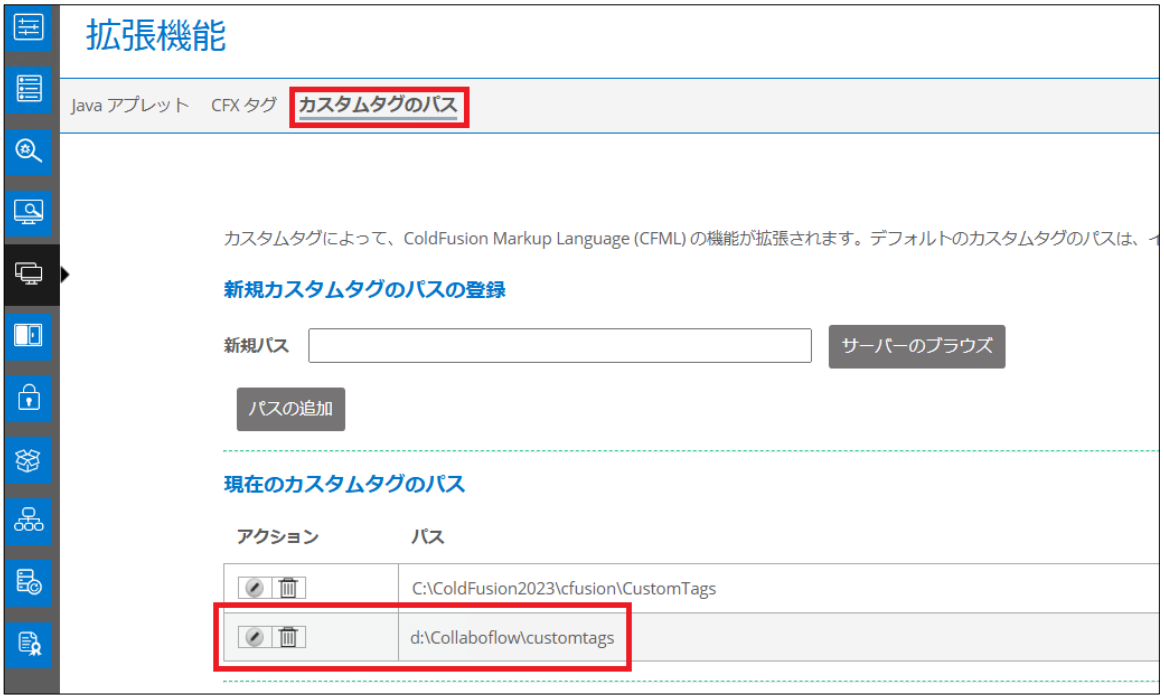


「OK」をクリックします。

Confirmation
パッケージ presentation をアンインストールしてもよろしいですか？
OK
キャンセル

5.8. カスタムタグの移行確認

「拡張機能」画面を表示し、「カスタムタグのパス」をクリックします。
現在のカスタムタグのパスにコラボフローのパスが表示されているか確認します。



現在のカスタムタグのパスにコラボフローのパスが表示されていない場合、
新規パスに「{コラボフローインストールフォルダ}¥customtags」を入力し、パスの追加をクリックします。

6. ColdFusion 脆弱性対策の確認

脆弱性対策として、ColdFusion のアップデート以外に ColdFusion 用の Java を変更するなどの対応が必要になる場合があります。

脆弱性対策については、コラボフローサポートサイトで情報を公開していますので、ColdFusion のアップデート適用前にご確認ください。
https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/sections/360000053795

7. ColdFusion 2023 のアップデート

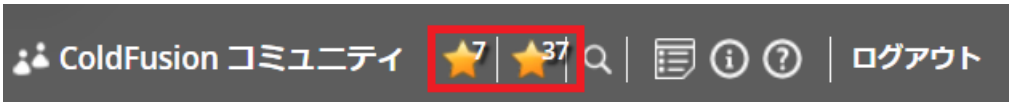
ColdFusion のアップデート適用前にコラボフローサポートサイトを参照し、適用するアップデートをご検討ください。
https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/360001286355

ColdFusion のインストールを行った環境がオンラインであれば、ColdFusion 管理画面よりアップデートを実行することができます。

※オフライン環境でアップデートをおこなう場合は、「ColdFusion のアップデート（オフライン）」を参照してください。

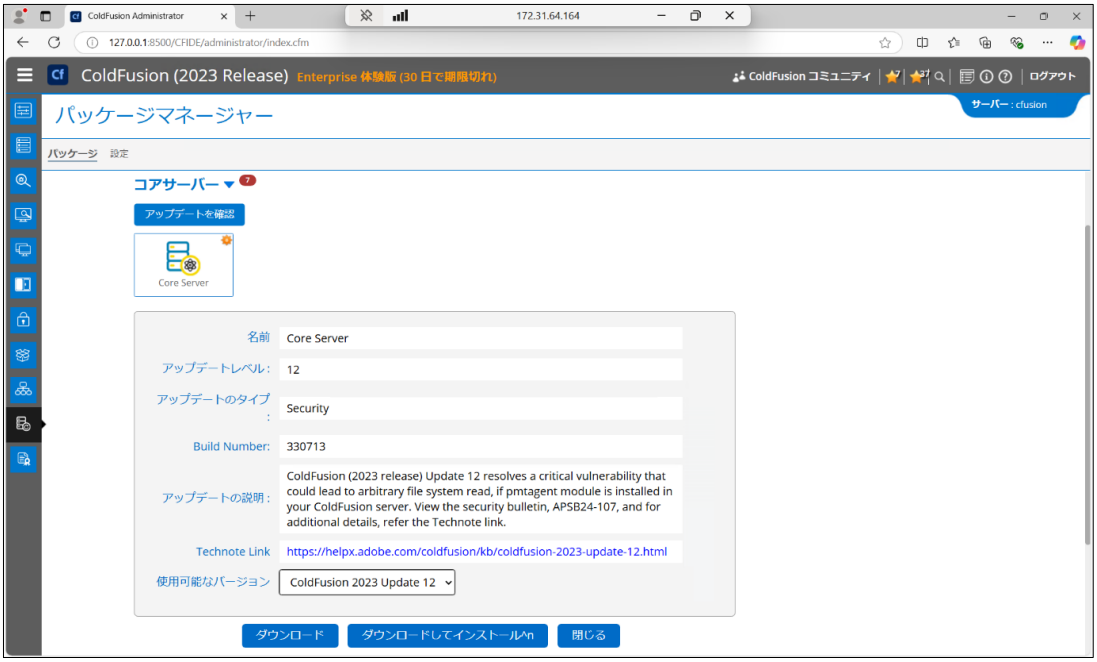
7.1. パッケージマネージャー画面の表示

ColdFusion 管理画面のヘッダー部分に表示された以下のアイコンをクリックすると、サーバー更新画面に遷移します。



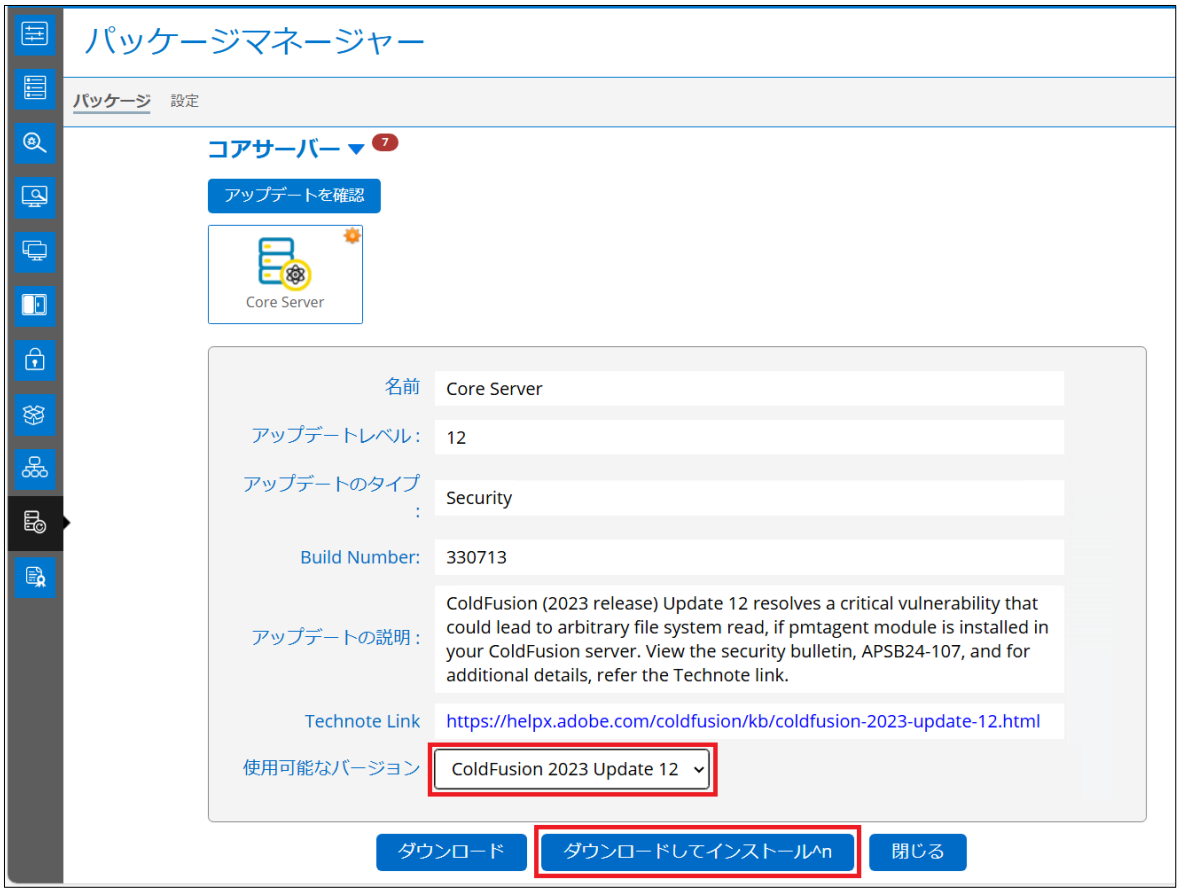
※ColdFusion 管理画面の左側に表示された「パッケージマネージャー」メニューを選択しても、同様の画面に遷移します。

パッケージマネージャー画面が表示されます。



7.2. ColdFusion のアップデート

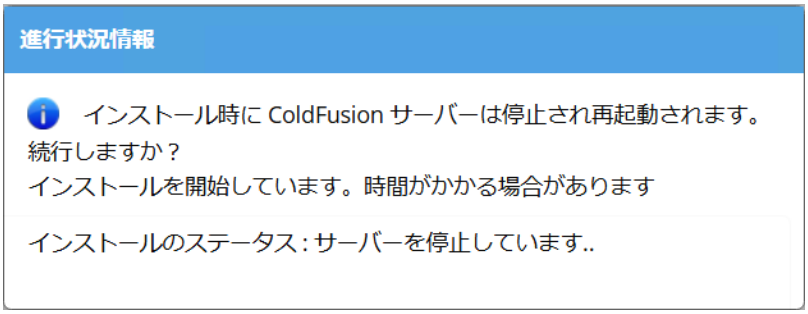
「使用可能なバージョン」からアップデート対象のバージョンを選択します。



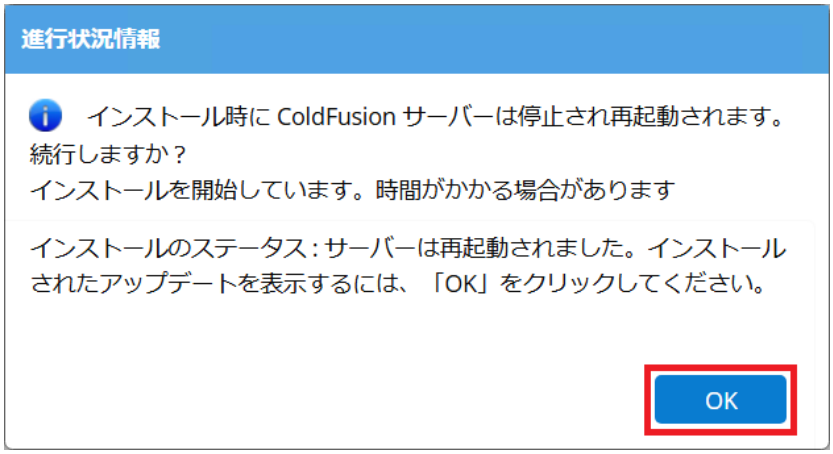
「ダウンロードしてインストール」のボタンをクリックし、ColdFusion のアップデートを行います。

インストールの続行確認が表示されるので「OK」ボタンをクリックします。

ダウンロードが完了すると、インストールの進行状況が表示されます。



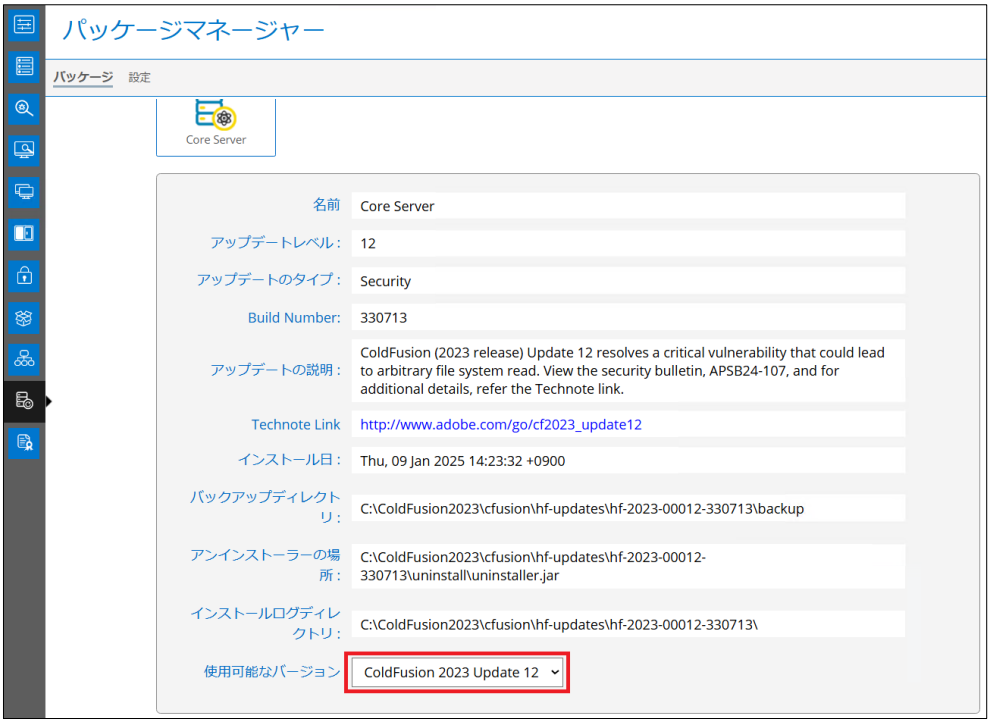
インストールが完了すると、再起動の確認画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。


進行状況情報
インストール時に ColdFusion サーバーは停止され再起動されます。
続行しますか？
インストールを開始しています。時間がかかる場合があります
インストールのステータス：サーバーは再起動されました。インストール
されたアップデートを表示するには、「OK」をクリックしてください。
OK

7.3. ColdFusion のアップデートの完了確認

ログイン画面が表示されます。
ColdFusion インストール時に指定した「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

「パッケージマネージャー」画面を表示し、「コアサーバー」の「使用可能なバージョン」を確認し、他に利用可能なバージョンがないことを確認します。



8. ColdFusion 2023 のアップデート（オフライン）

※オンラインでアップデートをおこなった場合は、本章をスキップしてください。

オフラインでアップデートを適用するには、別途インターネット接続が可能な PC にてアップデートファイルのダウンロードが必要です。

オフラインでのアップデート手順は、サムライズ社が提供している以下の FAQ 記事を参考にして実施ください。
https://cfassociates.samuraiz.co.jp/index.cfm/faq/coldfusion2023/cf2023-offline-update/

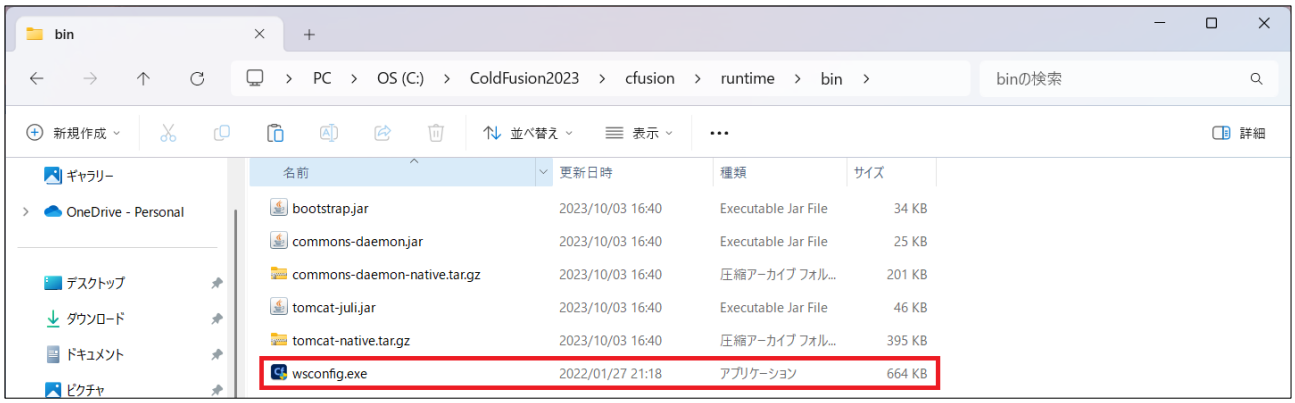
9. ColdFusion 2023 の追加設定

ColdFusion 2023 は、追加の設定を行う必要があります。
詳しくは、以下のページでご確認ください。
https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/11552585179535

10. ColdFusion と Web サーバーの接続設定

10.1. Web サーバー設定ツールの起動

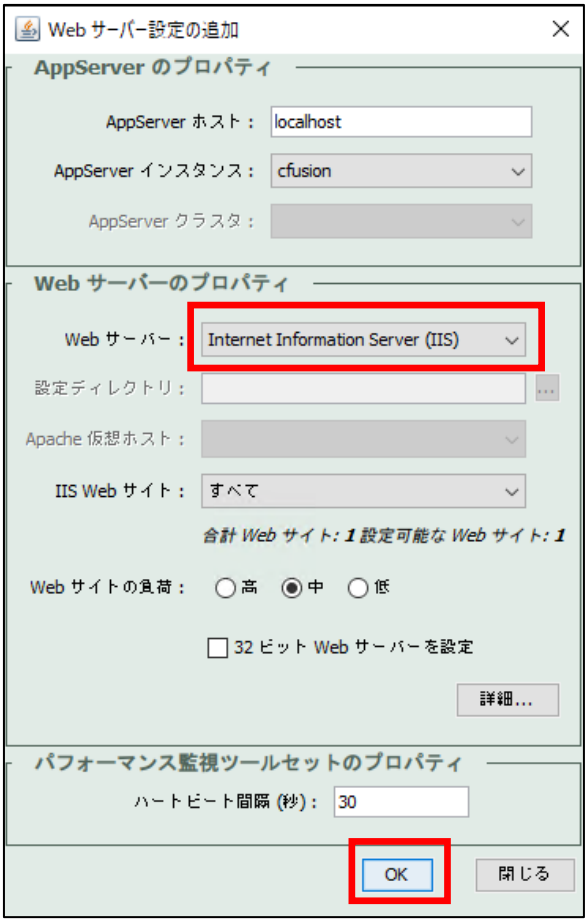
ColdFusion で使用する Web サーバー(IIS)の接続設定を行います。
「{ColdFusion インストールルート}¥ColdFusion2023¥cfusion¥runtime¥bin¥wsconfig.exe」をダブルクリックして、設定ツールを起動します。



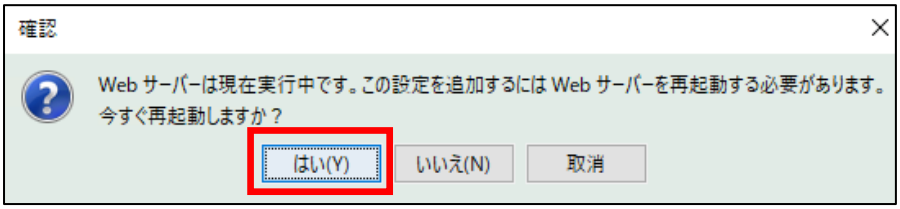
設定ツールの画面表示後、「追加」ボタンをクリックします。

10.2. Web サーバー設定の追加

Web サーバーに「Internet Information Services（IIS）」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

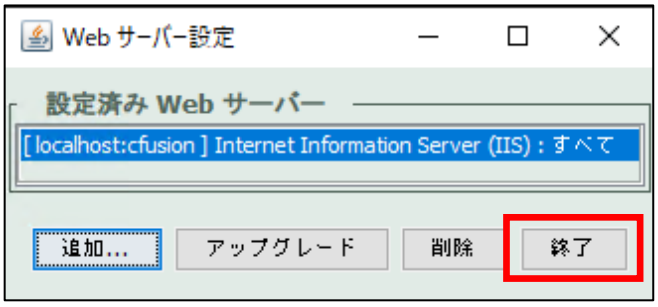


Web サーバー（IIS）を再起動する確認ダイアログが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



10.3. Web サーバー設定の終了

設定ツールの「設定済みの Web サーバー」一覧に「Internet Information Services（IIS）」が追加されたら、「終了」ボタンをクリックして画面を閉じます。



10.4. コラボフローへのアクセス確認

ブラウザーを起動し、コラボフローにアクセスします。
コラボフローのログイン画面が表示される事を確認します。

コラボフローのログイン画面が表示されない場合、トラブルシューティング「ColdFusion 2023 インストール後からコラボフローが表示されない」を参照ください。

11. ライセンスのアクティベーション

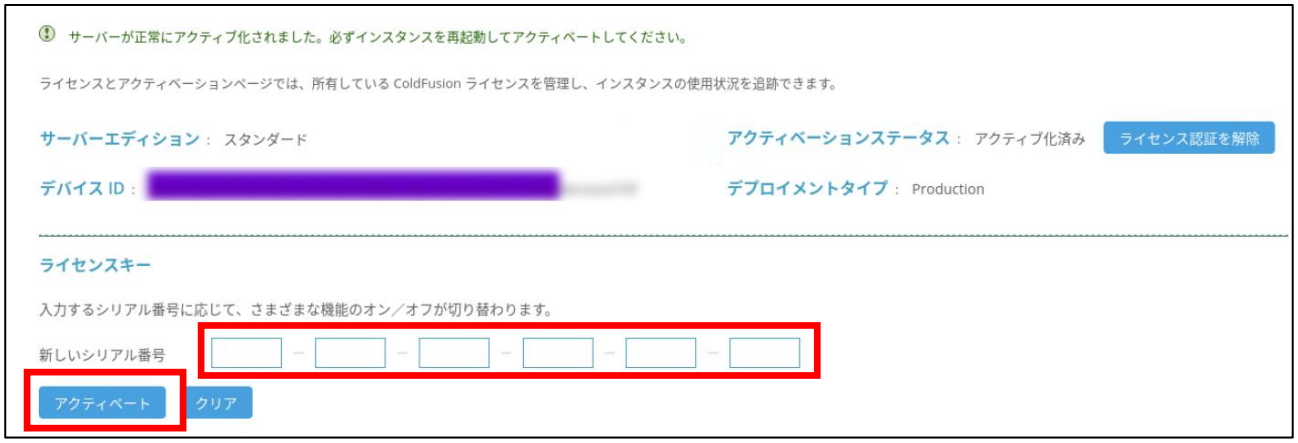
※プロキシ環境、または、オフライン環境で ColdFusion のインストールをおこなった場合のみに実施する手順です。
上記以外で ColdFusion のインストールをおこなった場合は、本章をスキップしてください。

本章を実施するには、オンライン環境である必要があります。

オフライン環境でライセンスのアクティベーションをおこなう場合は、
「ライセンスのアクティベーション（オフライン）」を参照してください。

11.1. シリアル番号入力

「ライセンスとアクティベーション」画面を表示し、「アクティベーション」をクリックします。
「ライセンスキー」に、ColdFusion 2023 のシリアル番号を入力し、「アクティベート」ボタンをクリックします。



ColdFusion 再起動

アクティベートが終了すると「サーバーが正常にアクティブ化されました。必ずインスタンスを再起動してアクティベートしてください。」と表示されます。
表示に従い、ColdFusion 2023 を再起動します。

11.2. アクティベーション内容の確認

再起動後、再び ColdFusion Administrator にログインし、
「ライセンスとアクティベーション＞アクティベーション」を開きます。

「サーバーエディション」が購入された ColdFusion のエディションと一致している事と、
「アクティベーションステータス」がアクティブ化済みとなっていることを確認してください。

12.　ライセンスのアクティベーション（オフライン）

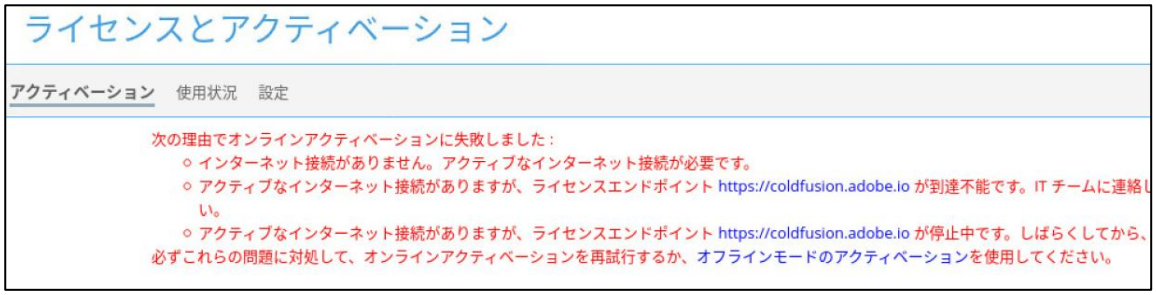
※オンラインでアクティベーションをおこなった場合は、本章をスキップしてください。

12.1.　シリアル番号入力

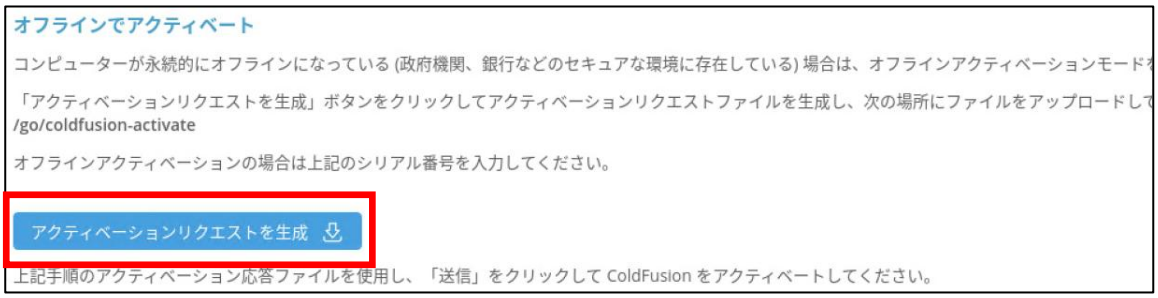
「ライセンスとアクティベーション」画面を表示し、「アクティベーション」をクリックします。
「ライセンスキー」に、ColdFusion 2023 のシリアル番号を入力し、「アクティベート」ボタンをクリックします。
※オフライン環境のため、応答が返ってくるまで、数分程度待つ必要がある場合があります。

12.2.　アクティベーションリクエスト作成

しばらく待つと、画面上に、アクティベーションが失敗したメッセージが表示され
オフラインアクティベーション用の設定が表示されます。



「オフラインでアクティベート」の「アクティベーションリクエストを生成」ボタンをクリックし、
オフラインアクティベーション用のファイルを生成してください。



応答コードをダウンロード

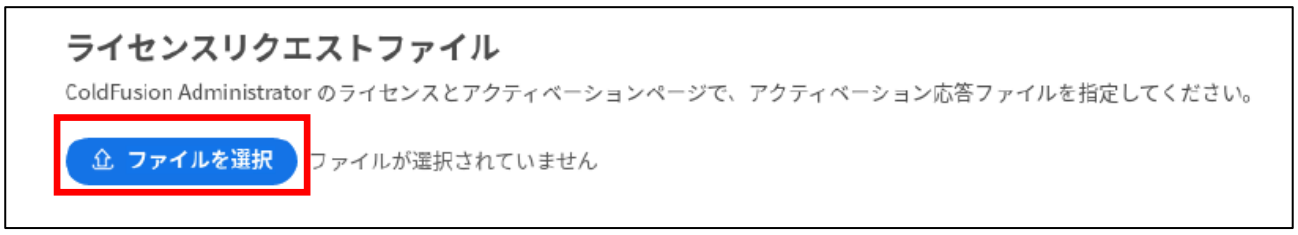
「アクティベーションリクエストファイルが以下の場所に生成されました」
というメッセージとともに、「[cf_root]¥cfusion¥bin¥.config」フォルダ内に、JSON ファイルが生成されます。
その JSON ファイルを、USB メディア等にコピーします。

別途インターネット接続が可能な PC に、JSON ファイルを配置して、ブラウザを開き、
以下の URL にアクセスします。

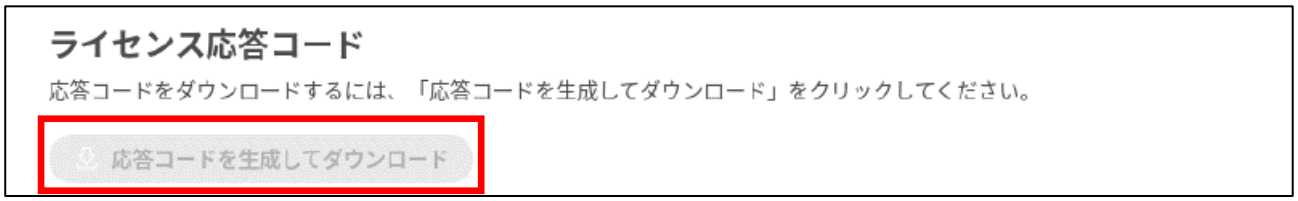
https://www.adobe.com/go/coldfusion-activate_jp

Adobe ID によるログインが表示されましたら Adobe ID を入力してログインしてください。

「ライセンスリクエストファイル」の「ファイルを選択」ボタンをクリックして、
JSON ファイルをアップロードします。



「ライセンス応答コード」の「応答コードを生成してダウンロード」ボタンが有効化されますので、
ボタンをクリックしてください。

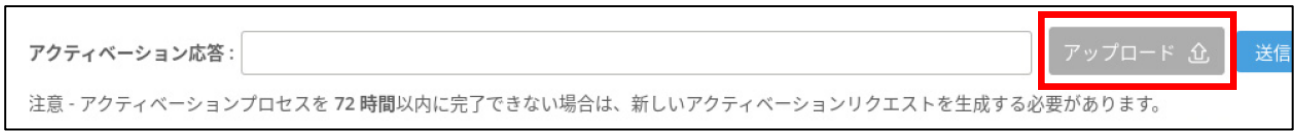


12.3. オフラインアクティベーション実行

※前手順から 72 時間以内に作業をおこなってください。

ダウンロードした応答ファイルを、ColdFusion サーバーにコピーします。

ColdFusion Administrator から「ライセンスとアクティベーション ＞ アクティベーション」の
「アクティベーション応答」にある「アップロード」ボタンをクリックします。



応答ファイルを選択し、「送信」ボタンを押すと、オフラインアクティベーションが実行されます。

12.4. ColdFusion 再起動

アクティベートが終了すると「サーバーが正常にアクティブ化されました。必ずインスタンスを再起動してアクティベートしてください。」と表示されます。
表示に従い、ColdFusion 2023 を再起動します。

12.5. アクティベーション内容の確認

再起動後、再び ColdFusion Administrator にログインし、
「ライセンスとアクティベーション＞アクティベーション」を開きます。

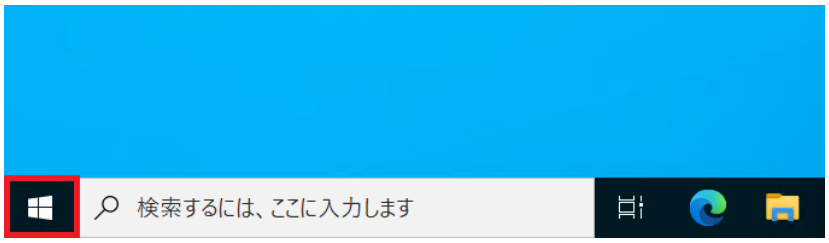
「サーバーエディション」が購入された ColdFusion のエディションと一致している事と、
「アクティベーションステータス」がアクティブ化済みとなっていることを確認してください。

13. ColdFusion 2021 の削除

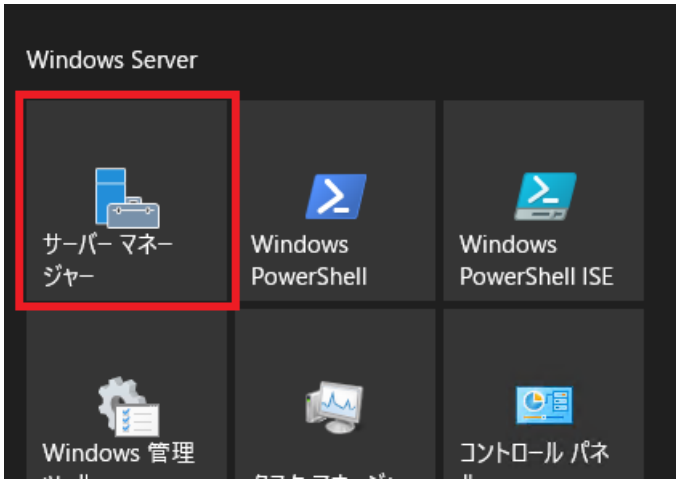
コラボフローへのアクセスを確認後、ColdFusion2021 の削除を行います。

13.1. ColdFusion 2023 サービスの停止

Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。

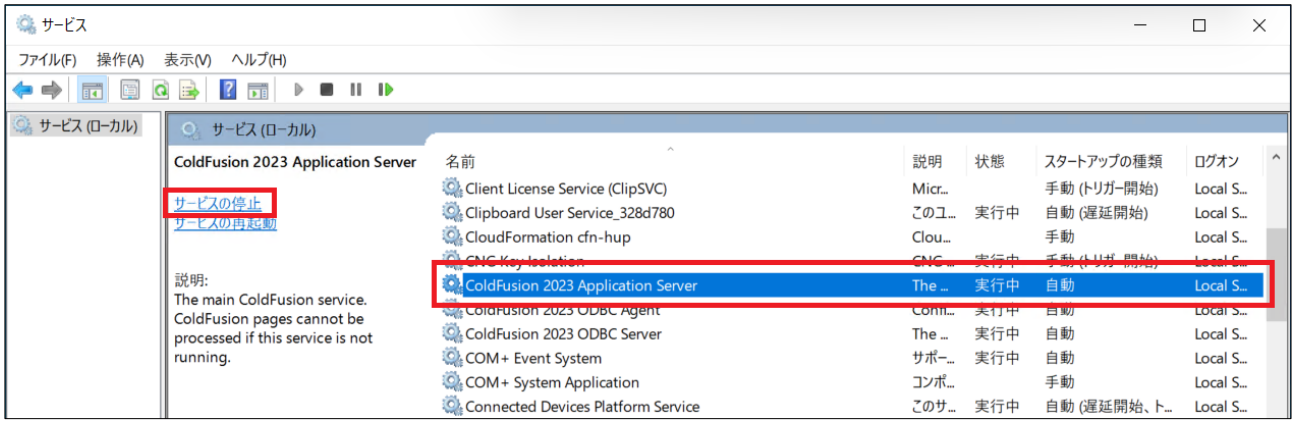


サーバーマネージャーをクリックします。

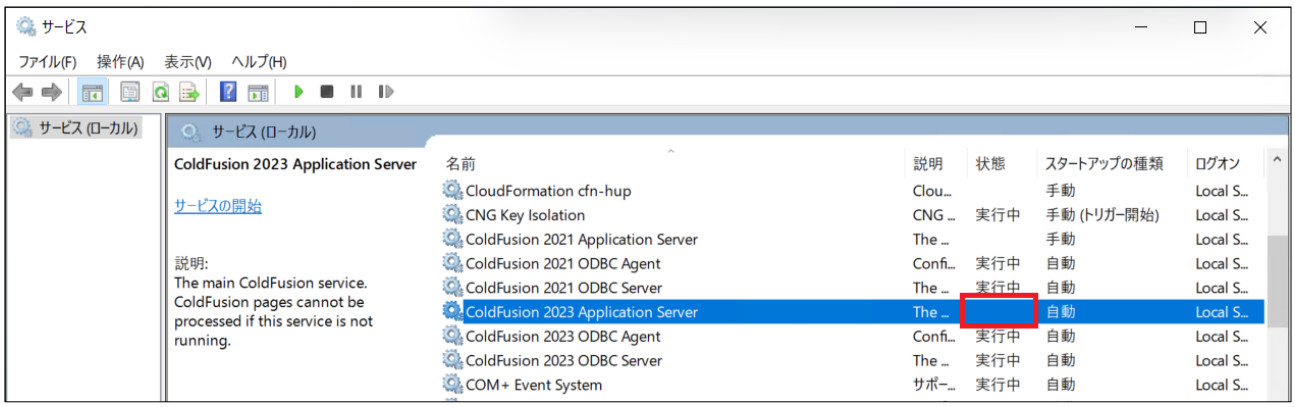


サーバーマネージャーのツールをクリックし、メニューから「サービス」をクリックします。

サービスの一覧が表示されます。
サービスの一覧から「ColdFusion 2023 Application Server」を選択します。
「サービスの停止」をクリックします。



「ColdFusion 2021 Application Server」サービスが停止されます。
「状態」が空欄となっており、停止状態である事を確認します。



13.2. ColdFusion 2021 一時フォルダの削除

C:¥ColdFusion2021¥cfusion¥runtime¥work¥Catalina フォルダを削除します。
※ご利用状況によりファイル数やサイズが多く、削除に時間が掛かる場合があります。

13.3. プログラムのアンインストール

コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」を選択します。
※「プログラム ＞ プログラムと機能」からも開けます。

「Adobe ColdFusion 2021」を選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。

補足： アンインストールと変更をクリックしても反応が無いように見える時は…
お使いのサーバー環境によっては、次の手順以降にあるようなアンインストールの確認や処理中の画面が表示されずに、画面非表示の状態で直ちにアンインストールが開始される場合があります。
（例：ColdFusion 2021 をインストールした際にサイレントインストールをしていた等が該当します。）

しばらく時間（10 分程）をおいてから再度「プログラムと機能」を開きなおし、「アンインストール完了の確認」の手順にお進みください。

13.4. ColdFusion 2021 のアンインストール

「アンインストール」ボタンをクリックします。

Uninstall Adobe ColdFusion 2021
Adobe ColdFusion 2021 をアンインストール
Adobe
次をアンインストールします...
Adobe ColdFusion 2021
ColdFusion インストーラーでインストールされた機能が削除されます。インストール後に作成されたファイルやフォルダーは削除されません。
注意 - ロックダウンされているサーバーインスタンスがある場合は、ColdFusion をアンインストールする前に、まずサーバーのロックダウンをアンインストールしてください。それができない場合は、Web サーバーや Web ルート設定が不安定な状態になる可能性があります。
InstallAnywhere
キャンセル
戻る(P)
アンインストール(U)

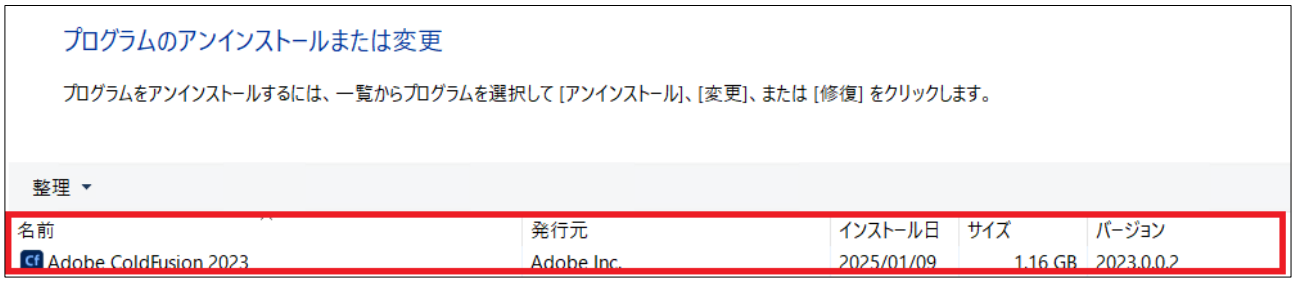
アンインストールの処理が開始されます。

機能の削除処理が実行されます。

アンインストール後、「完了」ボタンをクリックします。

13.5. アンインストール完了の確認

再度コントロールパネルを開き、プログラムと機能の一覧から「Adobe ColdFusion 2021」の項目が消えていることを確認します。

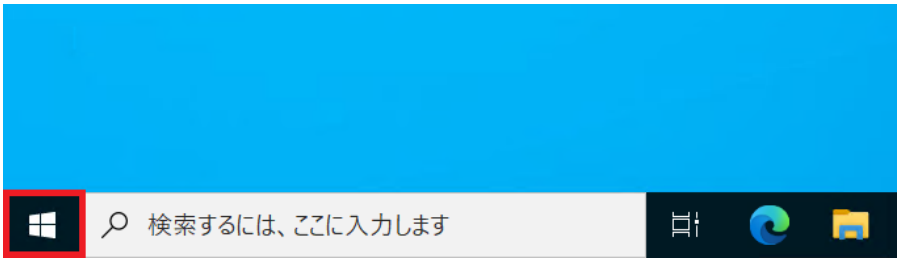


13.6. ColdFusion 20121 フォルダの削除

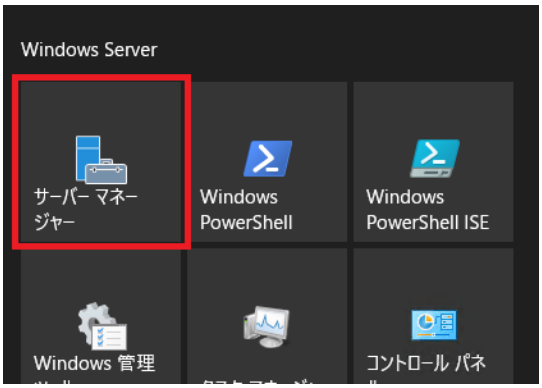
C:¥ColdFusion2021 フォルダを削除します。

13.7. ColdFusion 2023 サービスの起動

Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。

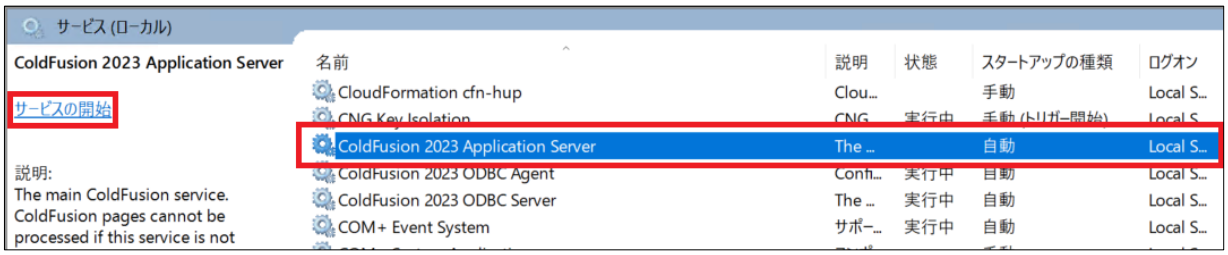


サーバーマネージャーをクリックします。

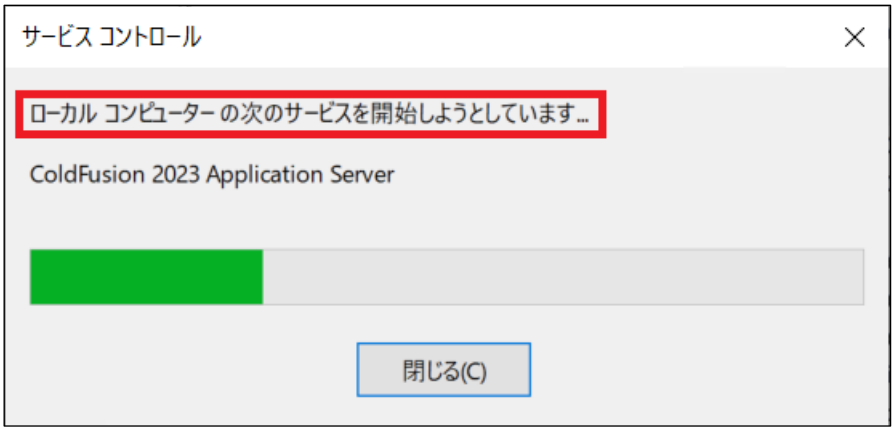


サーバーマネージャーのツールをクリックし、メニューから「サービス」をクリックします。

サービスの一覧が表示されます。
サービスの一覧から「ColdFusion 2023 Application Server」を選択します。



「サービスの開始」をクリックします。
サービスが起動されます。
開始後に、サービスの状態が「実行中」となるかを確認します。



13.8. コラボフローへのアクセス確認

ブラウザーを起動し、コラボフローにアクセスします。
コラボフローのログイン画面が表示される事を確認します。

14. トラブルシューティング

14.1. プロキシサーバーを経由する必要がある場合

コラボフロー サポートサイトの下記記事を参照ください。

> Web プロキシサーバーがある環境下で ColdFusion2021 の更新を行う方法
> https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/4425695407759

14.2. ColdFusion 2023 インストール後からコラボフローが表示されない

サービスの起動が競合している場合があります。サービスの一覧で以下を確認してください。

- 「ColdFusion 2023」から始まるサービスが起動していること。
- 「ColdFusion 2021」から始まるサービスが停止していること。

改訂履歴

初版　…. 2025 年 1 月